

令和5年度 要覧

ひやまの教育



(時空翔：奥尻町)

北海道教育庁檜山教育局

目次

● 檜山管内教育推進の重点	1
● 檜山のあらまし	2
● 管内教育の概要	3
● 公立学校の概要	5
● 公立学校一覧	7
● 社会教育の現況	9
● 指定文化財一覧	10
● 教育関係団体一覧	21
● 教育局の機構	23

北海道が目指す教育の基本理念

自立

自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

共生

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

基本理念の実現に向けて

- ◆ 社会で生きる力を育成します
 - ◆ 豊かな人間性を育成します
 - ◆ 健やかな体を育成します
 - ◆ 学びを支える家庭・地域との連携・協働を推進します
 - ◆ 学びをつなぐ学校づくりの実現をめざします
 - ◆ 学びを活かす地域社会の実現をめざします
-

令和5年度 檜山管内教育推進の重点

～学校教育のさらなる充実に向けて～

檜山の特色を生かし、
一人一人に寄り添いながら、学びを支える

ねばりづよく

あたたかく

ていねいに

「子どもを主役に、子どもを主語に」を合言葉に

【新たな時代に対応できる資質・能力を育む】

- ・持続可能な社会の創り手として必要となる資質・能力の育成や教育課程を軸に教育の質的向上を図るための組織的・計画的なカリキュラム・マネジメントの推進
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に図るためのICT機器の効率的・効果的な活用

「つなげる、つながる」を合言葉に

【学びをつなぐ】

- ・継続的かつ体系的な教育活動を行うための学校種間の円滑な接続の強化
- ・子どもの人間関係や経験を広げるための学校相互の連携や交流の推進

【進化に向けて連携する】

- ・キャリアステージや課題等に応じ、教職員が資質・能力を互いに高め合うための校内及び他校との合同研修・交流機会の充実
- ・子どもに対して効果的な教育活動を行うための組織一丸となった働き方改革の推進

【地域と一体となって学びを支える】

- ・地域全体で子どもの学びや成長を支えるためのコミュニティ・スクール等を活用した学校と地域のパートナーシップの構築
- ・子どもの地域への愛着と誇りを育むための地域人材との連携や教育資源の活用

「居心地のいい学校、居場所となる学校」を合言葉に

【子どもが安心して学べる学校をつくる】

- ・個性の発見とよさや可能性の伸長のための自己肯定感と他者への思いやりの心をもてる教育活動の推進
- ・いじめや不登校の未然防止及び早期発見、早期対応のための組織的な取組の推進

【子どもの学びの場の充実に図る】

- ・不登校の児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒のための多様な学びの場の充実

檜山のあらまし

● 沿革

「檜山」という地名は、現在の檜山地方南部に自生していたヒノキアスナロの材質が、「ヒノキ」に似ていることから、生育している山を檜木山（ひのきやま）と呼んでいたことに由来するといわれる。

北海道の開発や文化についてきわめて古い歴史を有する地域であり、延宝6年（1678年）には、檜山奉行所が江差に移設され、ヒノキアスナロの伐採と植林事業を行いつつ、一般民政をも取り扱ったことが管内における公的機関のはじまりである。

明治30年（1897年）には北海道官制の改正により、檜山支庁が設置され、現在では7町2,630.29km²の面積と、33,406人の人口を有している。

管内は江戸時代の後期以来、明治の中期まで、ニシン漁業が活況を呈し、本道における産業、商業の中心地として発展し、独特な文化を形成した。以来、管内は農業、林業、漁業といった第一次産業を中心として発展しつつあるが、一層の発展と安定化のため、道路、港湾、空港等の整備とともに、豊かな水産資源と農産、林産資源の開発が、大いに期待されている。

● 地理

本道の南西部、渡島半島の西北に位置し、西部は日本海に面して平野が少なく、波状性丘陵地あるいは波状性段丘地が多くなっており、江差町の西北61kmには奥尻島がある。

北部には後志利別川、南部には厚沢部川、天ノ川等があり、その流域はいずれも肥沃な農耕地になっている。

また、日本海に面する西海岸線は、波濤に侵食されて奇岩、怪岩が多く檜山道立自然公園の景勝の地となっている。しかし、丘陵が海岸に迫っているため、陸路の交通の発達は遅れ、更に平成26年（2014年）5月11日には函館本線と結ぶ江差線が廃線となり、管内の交通はほとんどバスに頼っているのが現状である。

● 気候

管内は、北上する対馬暖流の影響をうけて、比較的温暖で、全道でも気温の高い地域となっている。

しかし、夏季を除いて一帯に風が強く、全道でも有数の強風地帯である。

また、雨量は全道平均並みであり、積雪量は沿岸部では少なく、山間部では比較的多くなっている。



	人口	面積(km ²)
江差町	7,156	109.48
上ノ国町	4,467	547.72
厚沢部町	3,599	460.58
乙部町	3,428	162.59
奥尻町	2,425	142.99
今金町	4,963	568.25
せたな町	7,368	638.68
合計	33,406	2,630.29

(人口は住民基本台帳人口(令和4年1月1日現在)による。)

(面積は令和5年全国都道府県市区町村別面積調(令和5年1月1日現在)による。)

管内教育の概要

●管内教育の概要

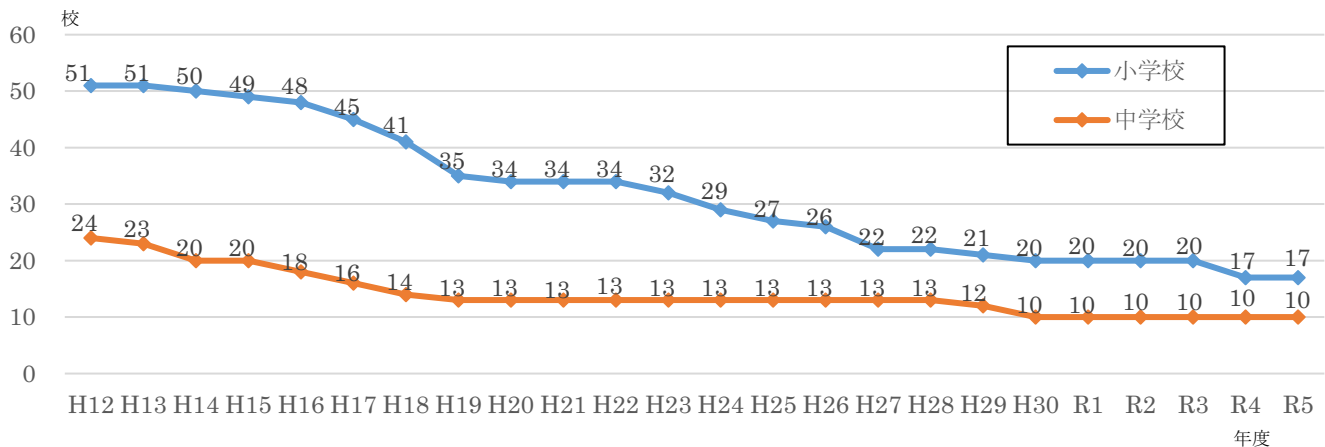
管内では「北海道教育ビジョン」が掲げる「自立」と「共生」の基本理念の実現を目指し、すべては子どもたち一人ひとりのために、「檜山の人づくり」「檜山の学校づくり」「檜山の地域づくり」を重点とした積極的な取組を展開しており、各学校では、檜山の豊かな自然と伝統・文化を基盤に、地域に根ざした特色ある教育活動を推進しています。

また、檜山は道内の開発や文化において、極めて古い歴史を有する地域であることから、管内の小・中学校や高等学校においては、全国的にも有名な江差追分や久遠神楽などの伝統芸能の継承活動に取り組んでいる学校もあります。

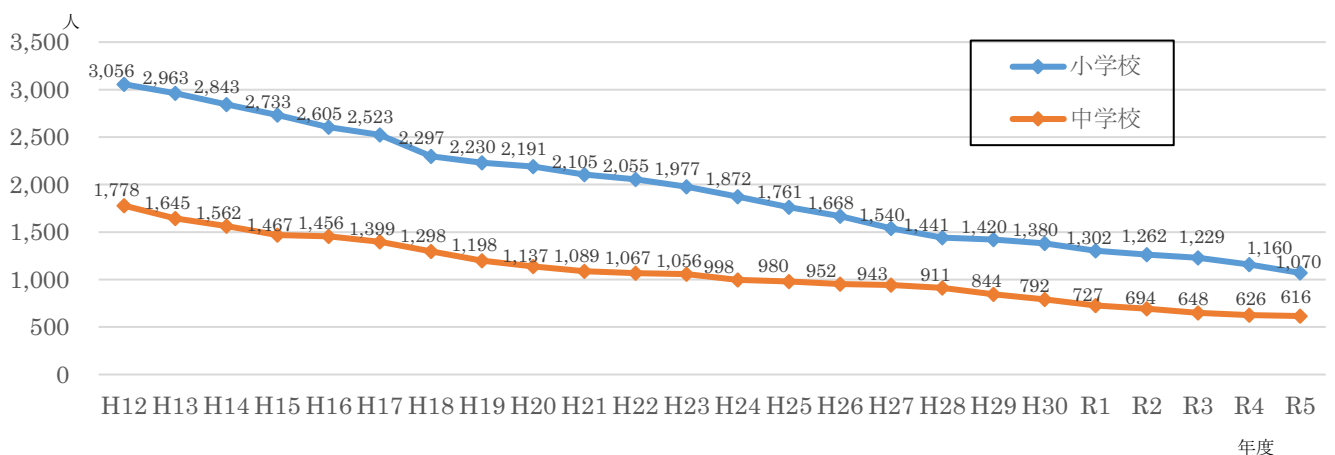
●学校・児童生徒数の現況

管内には、公立幼稚園が2園、認定こども園が2園、小学校が17校、中学校が10校、高等学校が4校、特別支援学校が1校あります。小・中学校の児童生徒数は小学校1,070名、中学校が616名と年々減少傾向にあります。

○学校数の推移（小・中学校）

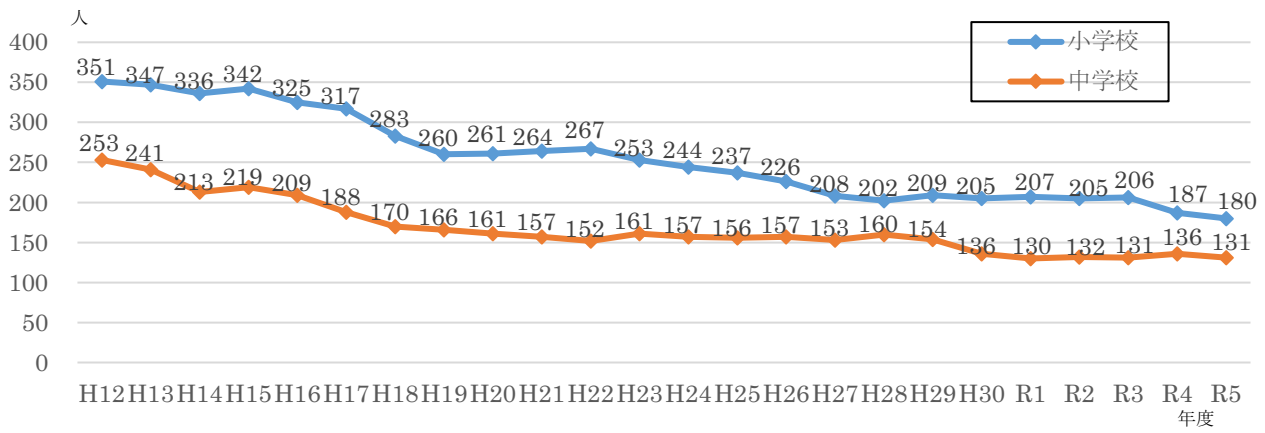


○児童・生徒数の推移（小・中学校）

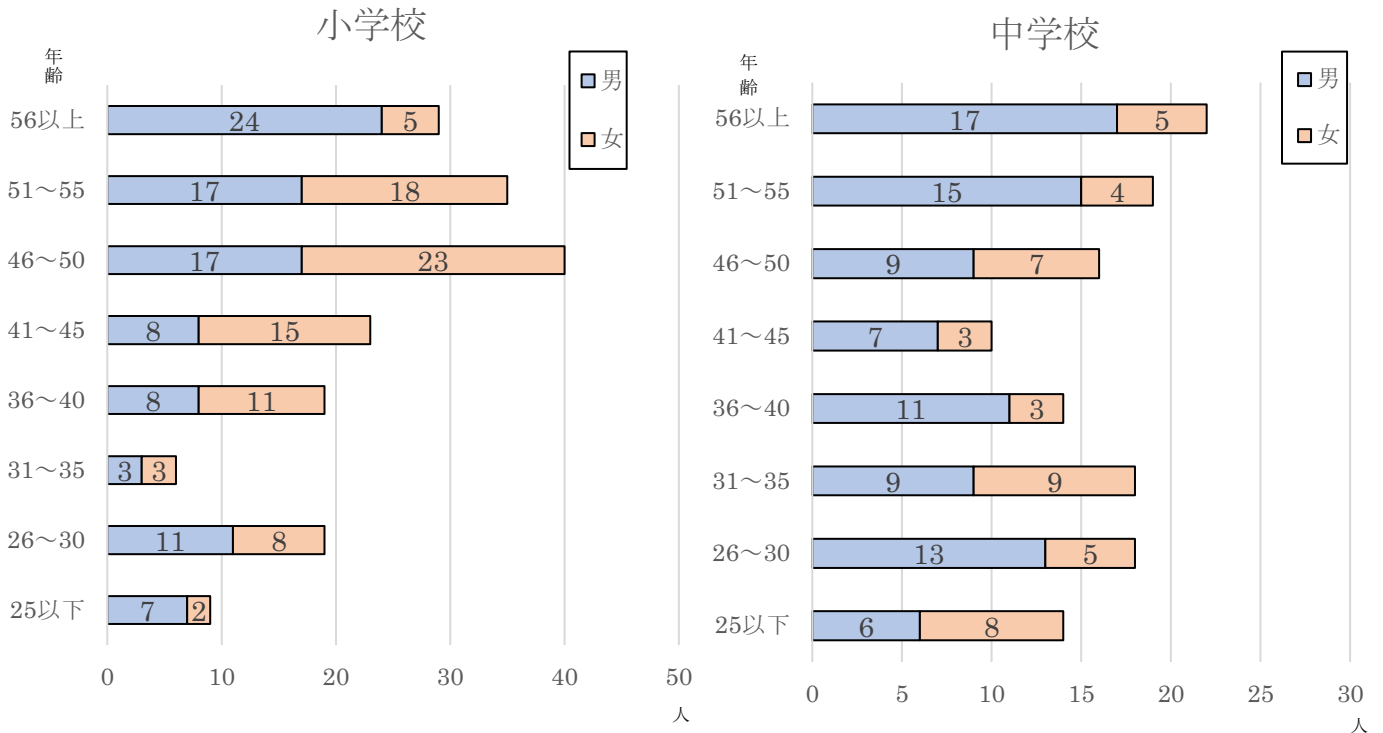


管内教育の概要

○教員数の推移（小・中学校）



○年齢別教員数（小・中学校）



平均年齢 45.1 歳（男平均 45.5 歳、女平均 44.6 歳）

平均年齢 41.5 歳（男平均 43.0 歳、女平均 38.6 歳）

全平均 43.9 歳（男平均 44.3 歳、女平均 43.2 歳）

公立学校の概要

● 幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

(令和5年5月1日現在)

区分 町名	公立幼稚園・ 認定こども園			小 学 校									中 学 校								
	園 数	園 児 数	教 員 数	学 校 数	児 童 数	学級数		教員数		養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員	学 校 数	生 徒 数	学級数		教員数		養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員
						普 通	特 別 支 援	普 通	特 別 支 援						普 通	特 別 支 援	普 通	特 別 支 援			
江差町				3	(18) 209	14	12	25	12	3	1	3	2	(9) 122	6	6	21	7	2		2
上ノ国町				2	(16) 147	9	10	16	10	2		2	1	(7) 78	3	4	11	4	1		1
厚沢部町	1	74	15	3	(11) 148	12	7	20	7	3	1	4	1	(8) 75	3	4	10	4	1		1
乙部町				2	(6) 96	9	4	13	4	1		1	1	(4) 62	3	4	10	4	1	1	1
奥尻町	2	28	15	2	(6) 68	8	5	12	5	2		2	1	(5) 34	3	4	10	4	1		1
今金町				2	(8) 192	9	4	17	5	2	1	3	1	(3) 101	3	2	10	3	1		1
せたな町	1	94	20	3	(27) 210	12	10	21	13	3		3	3	(7) 144	9	5	26	7	3	1	3
計	4	196	50	17	(92) 1,070	73	52	124	56	16	3	18	10	(43) 616	30	29	98	33	10	2	10

※児童数、生徒数の()は、特別支援学級の児童・生徒数で内数
※厚沢部町、せたな町は認定こども園

● 高等学校

(令和5年5月1日現在)

区分	学校数	課程	学 科	学級数	生徒数	校長・教頭・教諭	養護教諭	実習担任教諭 実習助手	事務職員	そ の 他	計
道 立	3	全日制	総 合	6	167	56	3	4	8	0	71
			普 通	9	242						
			計	15	409						
町 立	1	全日制	普 通	3	57	14	1	0	2	0	17
			計	3	57						
合 計				18	466	70	4	4	10	0	88

● 特別支援学校

(令和5年5月1日現在)

区分	学校数	学 部	学 科	学級数	生徒数	校長・教頭・教諭	養護教諭	実習担任教諭 実習助手	寄宿舎指導員	事務職員	そ の 他	計
道 立	1	高等部	窯 業 科	3	15	35	1	6	12	3	3	60
			農 業 科	3	16							
			家 庭 総 合 科	3	15							
合 計				9	46	35	1	6	12	3	3	60

公立学校の概要

令和5年度(2023年度)研究指定校等一覧<道・国指定事業>

(令和5年5月1日現在)

事業名	学校名等	研究主題等
地域医療を支える人づくりプロジェクト事業<道>	江差高	将来における本道の地域医療を支える人材を育成するため、医学部への進学を目指す道立高等学校の生徒に対して、地域医療の現状や医師という職業への理解を深める機会を提供し、地域医療を担う使命感を育成するとともに、教育課程や指導方法の改善・充実を図ることにより、進路希望の実現に向けた効果的な学習支援に努め、もって本道の高等学校教育全体の活性化に資する。
学校力向上に関する総合実践事業<道>	厚沢部小 館小、鶉小、厚沢部中	管理職のリーダーシップの下で全校が一つのチームとなった包括的な学校改善を推進することなどを目的とし、平成25年度から実施してきたこれまでの事業成果を踏まえ、学校改善の一層の充実を図るとともに、地域全体で今日的な教育課題を解決する学校モデルの構築を推進する。
自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデル事業<道>	江差北中	自主・自律的な学習習慣や生活習慣の確立に向け、端末を活用した二つの取組を推進し、その成果を全道に普及する。(1)端末持ち帰り(ID・パスワード)学習支援やオンライン双方向通信等による学習支援(2)クラウドサービスを活用し、自ら学習状況等を記録・可視化し、望ましい学習習慣等を定着
体育専科教員活用事業<道>	今金小 種川小	体育を専門とする教員を児童の体力向上に積極的に取り組もうとする小学校等に配置し、学級担任等とのチーム・ティーチングによる指導や授業づくりの支援等を行い、小学校教員の体育に関する指導力の向上や学校全体の体力向上の取組の充実を図る。
体育エキスパート教員巡回指導事業<道>	厚沢部小 鶉小、館小、江差北小	児童の体力向上に関し、支援を必要とする複数市町村の小学校を巡回し、学級担任等とのチーム・ティーチングによる指導や、体育授業の改善及び授業以外の取組について支援や指導助言等を行う小学校体育エキスパート教員を配置し、体育の指導力向上及び体力向上の取組の充実を図る。
中1ギャップ問題未然防止事業<道>	厚沢部中 厚沢部小、館小、鶉小	小・中学校間の円滑な連携体制を構築し、学習指導と生徒指導を関連付けた教育活動の改善・充実を図ることにより、児童生徒のよりよい人間関係を築く力を育成し、不登校児童生徒数の減少などの生徒指導上の諸課題の解決を図るなど、中1ギャップ問題の解消や未然防止を図る。
発達障がい支援成果普及事業<道>	上ノ国町	特別支援教育総合推進事業の一環として、発達障がいのある子どもやその保護者への早期からの教育相談や支援体制の充実を積極的に推進する連携推進地域を指定することにより、域内の市町村教育委員会と保健福祉部局の連携を促進し、もって本道における発達障がいの可能性のある幼児児童生徒への切れ目のない一貫した指導や支援の充実を図る。
教育相談体制充実モデル事業<道>	江差町	地域における教育相談担当者の人材育成や活用、支援体制の構築を特別支援教育センター、教育局及び市町村教育委員会と共同で推進することにより、地域の実情に応じた教育相談体制の充実を図る。
北海道ふるさと教育・観光教育推進事業<道>	館小、奥尻中 乙部小、大成中	道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等において、「アイヌの人たちの歴史・文化等」「北方領土」「縄文遺跡群」「北海道の文化遺産等」の学習を取り上げたり、北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源を活用したりすることにより、北海道についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育・観光教育の充実を図る。
英語教育推進事業<道>	今金小、今金中	学習指導要領等の趣旨を踏まえ、児童生徒に4技能5領域のバランスの取れた英語力を育むための指導方法等について実践研究を行い、その成果を普及することにより、英語教育の充実に資する。

公立学校一覧

小学校

(令和5年5月1日現在)

町名	学校名	へき地	校長名	教頭名	学級数		教員数	児童数	郵便番号	住所	電話番号
					普通	特別支援					
江差町	江差	準	谷口 光伸	間宮 真一	6	5	16	115	043-0043	江差町字本町170	0139-52-0140
	南が丘	準	吉岡 栄	大滝 英樹	4	5	12	49	043-0063	江差町字南浜町370	0139-52-0524
	江差北	1	中山 晴生	荒谷 真一	4	2	9	45	043-0017	江差町字水堀町147	0139-53-6024
計	3校				14	12	37	209			
上ノ国町	上ノ国	準	石澤 修介	野口 智史	6	6	17	123	049-0611	上ノ国町字大留70	0139-55-2009
	河北	1	笹木 央	中川 真一	3	4	9	24	049-0624	上ノ国町字中須田920-6	0139-55-2151
計	2校				9	10	26	147			
厚沢部町	館	1	佐藤 等	茅森 輝男	3	4	9	33	043-1351	厚沢部町字館町187-1	0139-66-2230
	鶉	1	安田 善紀	木村 一夫	3	2	6	15	043-1237	厚沢部町字鶉町212-3	0139-65-6351
	厚沢部	準	松村 浩良	稲船 志津子	6	1	12	100	043-1113	厚沢部町字新町104	0139-64-3042
計	3校				12	7	27	148			
乙部町	乙部	1	笠松 靖史	栃木 直子	6	4	13	87	043-0103	乙部町字緑町641	0139-62-2021
	明和	3	晴山 泰文	小原 なおみ	3	0	4	9	043-0233	乙部町字潮見183	0139-63-2320
計	2校				9	4	17	96			
奥尻町	奥尻	4	清水 勝也	前田 浩次郎	5	4	11	45	043-1404	奥尻町字宮津40	01397-2-2424
	青苗	5	工藤 崇	松尾 康成	3	1	6	23	043-1522	奥尻町字富里36	01397-3-2352
計	2校				8	5	17	68			
今金町	種川	1	黒川 貴功	鈴木 秀樹	3	1	6	22	049-4324	今金町字種川369	0137-82-0506
	今金	1	久慈 学	近藤 覚	6	3	16	170	049-4308	今金町字今金108	0137-82-0224
計	2校				9	4	22	192			
せたな町	久遠	2	西山 恭史	草間 留美子	3	2	6	16	043-0504	せたな町大成区都366	01398-4-5018
	瀬棚	1	越前 秀一	鎌田 瑞己	3	4	10	34	049-4804	せたな町瀬棚区本町513-1	0137-87-3079
	北檜山	1	浅沼 珠恵	若林 則幸	6	4	18	160	049-4514	せたな町北檜山区豊岡200	0137-84-5424
計	3校				12	10	34	210			
合計	17校				73	52	180	1,070			

公立学校一覧

● 中学校

(令和5年5月1日現在)

町名	学校名	へき地	校長名	教頭名	学級数		教員数	生徒数	郵便番号	所在地	電話番号
					普通	特別支援					
江差町	江差北	1	米谷 優	甲谷 美映子	3	2	12	25	043-0056	江差町水堀町147	0139-52-0141
	江差	準	福井 順一	佐藤 智也	3	4	16	97	043-0017	江差町陣屋町506	0139-53-6022
計	2校				6	6	28	122			
上ノ国町	上ノ国	準	関田 貴人	村田 真一	3	4	15	78	049-0601	上ノ国町字勝山39	0139-55-2028
計	1校				3	4	15	78			
厚沢部町	厚沢部	準	玉置 英樹	桜庭 一宏	3	4	14	75	043-1113	厚沢部町字新町250	0139-64-3354
計	1校				3	4	14	75			
乙部町	乙部	1	宮腰屋 由	佐野 秀輔	3	4	14	62	043-0103	乙部町字緑町139-2	0139-62-2350
計	1校				3	4	14	62			
奥尻町	奥尻	4	岡 健	大野 正樹	3	4	14	34	043-1402	奥尻町字赤石411-2	01397-2-2037
計	1校				3	4	14	34			
今金町	今金	1	佐々木 弘司	田畑 禎喜	3	2	13	101	049-4308	今金町字今金445-6	0137-82-0072
計	1校				3	2	13	101			
せたな町	大成	2	赤井 優子	橋本 聖	3	2	9	17	043-0504	せたな町大成区都421	01398-4-5047
	瀬棚	1	米田 昌	山本 雅樹	3	1	10	26	049-4827	せたな町瀬棚区共和404-1	0137-87-3104
	北檜山	1	酒井 豊志	能代 淳司	3	2	14	101	049-4514	せたな町北檜山区豊岡233-1	0137-84-5345
計	3校				9	5	33	144			
合計	10校				30	29	131	616			

● 高等学校

(令和5年5月1日現在)

学校名	校長名	教頭名	事務長名	学級数		生徒数	教職数	郵便番号	所在地	電話番号	
				総合	普通						
道立	江差	古谷 尚	藤本 純一	佐田 茂之	0	6	192	28	043-0022	江差町字伏木戸町460-1	0139-53-6224
	上ノ国	吉田 亨平	菅野 布靖	杉山 実	0	3	50	15	049-0695	上ノ国町字大留351	0139-55-3766
	檜山北	山田 延彦	齊藤 正明	鶴見 里恵	6	0	167	28	049-4433	せたな町北檜山区丹羽360-1	0137-84-5331
町立	奥尻	千葉 健史	遠藤 秀人	青木 陽一	0	3	57	17	043-1402	奥尻町字赤石411-2	01397-2-2354
合計	4校				6	12	466	88			

● 特別支援学校

(令和5年5月1日現在)

学校名	校長名	教頭名	事務長名	学級数			生徒数	教職員数	郵便番号	所在地	電話番号	
				職業	農業	家庭総合						
道立	今金高等養護	飯出 広行	金子 亘喜	市川 聡	3	3	3	46	60	049-4304	今金町字今金454-1	0137-82-3121
合計	1校				9		46	60				

● 幼稚園・認定こども園

(令和5年5月1日現在)

町名	園名	区分	園長名	学級数	園児数	郵便番号	所在地	電話番号
厚沢部町	厚沢部町認定こども園はぜる	幼保	斎藤 紋子	6	74	043-1111	厚沢部町赤沼町377-1	0139-56-7310
奥尻町	奥尻幼稚園	—	清水 勝也	2	20	043-1401	奥尻町字奥尻428-2	01397-2-2080
	青苗幼稚園	—	工藤 崇	3	8	043-1521	奥尻町字青苗351	01397-3-2105
せたな町	認定こども園きたひやま	幼保	伊藤 悦子	6	94	049-4514	せたな町北檜山区豊岡259-1	0137-84-5255
合計	4園				17	196		

社会教育の現況

● 社会教育・文化・社会体育施設数(町立施設のみ)

(令和5年5月1日現在)

区分 町名	指導体制				社会教育・文化施設						社会体育施設														
	社会教育主事の設置状況	生涯学習推進アドバイザー	社会教育委員	スポーツ推進委員	公民館	図書館	博物館(類似施設) ※1	生涯学習センター	青少年教育施設	女性・婦人教育施設	文化会館	柔道場	剣道場	柔剣道場	庭球場	多目的運動広場	野球場・ソフトボール場	スキヤンプ	弓道場	パークゴルフ場	水泳プール	屋内	屋外	体育館	その他の施設 ※2
江差町		1	14	8		1	3			1				1	4	2	1				1			1	
上ノ国町			8	8			2										1	1	1		1	2		1	1
厚沢部町	1		12	10		1	1						1	1	2	1		1	2	1	1	1		1	1
乙部町	1	1	8	7	1		1	1					1			3		1			1	1		1	2
奥尻町	1		8	8			1	2								1		1		1	1			1	1
今金町	2	1	8	8			1						1				4				1			1	2
せたな町	1		10	10		1	2	1	1			1	1	3	8	2	3	2	3		3	1	2	2	7
計	6	3	68	59	1	3	11	1	4	1	0	1	4	5	14	9	9	6	6	2	8	6	2	8	14

※1には、「郷土資料館」等が含まれる。

※2には、「トレーニング場」、「ゲートボール場」等が含まれる。

● 生涯学習関連施設情報

町名	施設名称	所在地	ホームページ
江差町	旧檜山爾志郡役所 (江差町郷土資料館)	檜山郡江差町中歌112	https://www.esashi.town/tourism/page.php?id=88
上ノ国町	勝山館跡ガイダンス施設	檜山郡上ノ国町勝山427	http://www.town.kaminokuni.lg.jp/hotnews/detail/00000391.html
厚沢部町	土橋自然観察教育林(レクの森)・ キャンプ場	檜山郡厚沢部町緑町18	http://www.town.assabu.lg.jp/modules/autocamp/content0002.html
乙部町	乙部町公民館 郷土資料室	爾志郡乙部町字館浦4-1	http://www.town.otobe.lg.jp/section/sangvou/e0taal0000000dce.html
奥尻町	奥尻島津波館	奥尻郡奥尻町字青苗36	http://www.town.okushiri.lg.jp/hotnews/detail/00001052.html
今金町	ピリカ旧石器文化館	瀬棚郡今金町字美利河228-1	http://www.town.imakane.lg.jp/pirika/
せたな町	せたな町B&G海洋センター艇庫	久遠郡せたな町瀬棚区 三本杉215	http://www.town.setana.lg.jp/archive/setana/bg_teiko/b&g-teiko.htm

指定文化財一覧

国指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	摘 用
重要文化財	旧中村家住宅	江差町中歌町22	江差町	昭和46・12・28	中村家は廻船問屋の土蔵造りの商家で、切妻造二階建ての母家おき、背後浜側にむかって文倉庫・下ノ倉・はねだしと附属建物連なるつくりのもの。
	北海道美利河1遺跡出土品	今金町今金田美利河228-1	今金町	平成3・6・21	史跡ピリカ遺跡出土石器のうち、高度な製作技術を示す狩猟具や装飾品等、石器類163点が指定されている。当時の社会生活を知る上で重要である。
	旧笹浪家住宅	上ノ国町字上ノ国236	上ノ国町	平成4・1・21 平成30・12・25 追加指定	1800年代前半の民家。北海道に現存する民家では最古に属する。
	上國寺本堂	上ノ国町字勝山416	上國寺	平成5・4・20	江戸時代宝暦8年(1758年)に建てられた18世紀後半の寺院。
	北海道上之国勝山館跡出土品	上ノ国町字大留100	上ノ国町	平成20・7・10	15～16世紀(室町時代～安土・桃山時代)の城館跡から出土した一括資料である。
天然記念物	ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地	江差町字楸川地区	国	大正11・10・12	我が国北針葉樹種の要素足る「ヒノキアスナロ及びアオトドマツ」の代表的混合林にして、学術上貴重な林相を呈するものである。
	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	厚沢部町字峠下	国	昭和3・2・7	この自生地は厚沢部川の支流、鶉川流域の山岳地帯にあり、日本海側における北限地帯の自生地として重要である。
史跡	上之国館跡 花沢館跡	上ノ国町字勝山	上ノ国町	昭和52・4・12	15世紀中葉に津軽安藤氏の上之国守護であった蛸崎季繁の館。
	上之国館跡 洲崎館跡	上ノ国町字北村	上ノ国町	平成18・3・31	長禄元年(1457年)の戦いで功を挙げた武田信広が上之国守護蛸崎季繁の養女である安東政季の娘を妻とし、同年築いた館。
	上之国館跡 勝山館跡	上ノ国町字勝山他	上ノ国町	昭和52・4・12 昭和62・8・10 追加指定	松前氏祖武田信広が築いたといわれ、文明5年(1473年)には館内に八幡宮が祀られているのでその頃に作られたようである。
	ピリカ遺跡	今金町字美利河	今金町	平成6・4・26	旧石器時代の遺跡で、およそ20万㎡の範囲に良好に石器群が残されている。発掘調査により、石器群の年代的な移り変わりを層位的に確認できたことは重要である。
	松前氏城跡・福山城跡・館城跡	厚沢部町字城丘	厚沢部町ほか	平成14・9・20	松前藩の城として、明治元年(1868年)9月1日に築城に着手し、10月25日に完成したが、11月15日徳川脱走軍により攻撃され、わずか75日で陥城した城である。
重要無形民俗文化財	松前神楽	今金町 せたな町瀬棚区		平成30・3・8	松前神楽は、北海道において江戸時代以来の伝統を引き継ぎ、さらに道内各地でそれぞれの地域の特色を加えつつ広く行われるようになったもので、芸能の変遷の過程および地域的特色を示す重要なものである。

指定文化財一覧

道指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	摘 用
有形民俗文化財	江差姥神町横山家	江差町宙姥神町45	個人	昭和38・12・24	漁業・商家・廻船問屋業を営んでいた横山家は、明治6年(1873年)に創建途中大火にあい同25年(1892年)に再建されたものだが、昔の建築様式を再現していると伝えられている。
	江差姥神大神宮祭礼山車 松寶丸及び附属品	江差町宙陣屋町19	松寶丸保存会	昭和38・12・24	毎年江差姥神大神宮の祭礼に供奉するために山車として建造されたものであり、船材はすべてあすなろ檜を使用している。
	江差姥神大神宮祭礼山車 神功山人形及び附属品	江差町宙愛宕町49	神功山保存会	昭和38・12・24	神功山は姥神大神宮祭典に供奉される山車で、人形は宝暦4年(1745年)に作られた。箱書きに細工師の名前が書かれており、京都の人形問屋松屋七郎兵衛に納められたと伝えられている。
無形民俗文化財	五勝手鹿子舞	江差町旧五勝手地域	江差五勝手鹿子舞保存会	昭和38・12・24	今から、260年程度前、杜夫が山で見た鹿の雌雄のたわむれ争うのをみて作られたというもの。
	江差沖揚音頭	江差町旧五勝手地域	江差沖揚音頭保存会	昭和38・12・24	鯨で栄えた当時のことを鯨漁の水揚げから網起こし・汲み出し・子叩き・納屋入れまでを唄ったもので共同作業に効果があり、他の地方のすでにお座敷化しているものにはみられない気合いのこもったもののまま残されている。
	江差追分	江差町全域	江差追分会	昭和52・4・13	今から200年程度前、信州中仙道の馬子唄が蝦夷地通いの船頭衆や舟子達によって舟歌となりその舟歌を母とし伊勢松坂の兼良節を父として生まれたといわれる。日本の代表的民謡として有名である。
	江差三下り	江差町全域	江差三下り保存会	昭和57・6・30	江差追分が完成する過程の元唄であり、追分節の母といわれている。信州馬子唄が越後路に入り船中で歌われ、元禄年間江差に入り、あやこ達によって固定し座敷唄として完成した。
	江差餅つき囃子	江差町全域	江差町餅つき囃子保存会	昭和57・6・30	鯨で栄えた頃、年の瀬には親方の家では5俵10俵と餅をつく。笛・太鼓に合わせて若い漁夫が一団となって踊りながら餅をつき、相取手が曲芸をやるといふもの。
	姥神大神宮渡御祭	江差町	姥神大神宮祭典協賛実行委員会	平成31・3・19	江戸時代より姥神大神宮の祭礼として、神輿渡御・山車供奉の形態で伝承されてきた。歴史的に遡ることができて地域色豊かであり、本道における典型的な風俗慣習である。

指定文化財一覧

道指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	摘 用
有形文化財	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町 字中歌町112	江 差 町	平成 4・3・31	檜山・爾志郡両郡の郡役所として明治20年(1887年)に建設された。郡役所として道内で唯一の遺構であり、警察署の庁舎を兼ねた。郡区長が警察署長を兼ねた時期の産物である。
	法華寺寛保津波の碑	江差町字本町71	法 華 寺	平成 4・3・31	寛保元年(1741年)7月19日の大津波の犠牲者の供養碑として8月に建てられた石碑ではじめは陣屋町の薬師堂に建てられたものである。歴史的な災害の重要な文化財であり碑文は記録として重要。
	正覚院寛保津波の碑	江差町字本町271	正 覚 院	平成 4・3・31	寛保元年(1741年)7月19日の大津波の犠牲者の供養碑として8月に建てられた。寛保の大津波は日本の災害史上の大きな事件であるが、この石碑は大津波に関する重要な文化財であり碑文は記録として重要。
	砂館神社本殿	上ノ国町字北村96	砂館神社	昭和 60・3・30	この神社は松前氏祖武田信広が洲崎館内に寛正3年(1462年)に建てられた神社である。
	円空作十一面観音立像	上ノ国町字上ノ国236	上ノ国町	昭和 52・3・11	この仏像は約150cmの高さを持つ大作であり、道内にある仏像のうち唯一の十一面観音立像である。
	上ノ国八幡宮本殿	上ノ国町字上ノ国409	上ノ国 八 幡 宮	平成 29・3・31	北海道内に現存する神社建築としては最古とみられ、その建築年は元禄12年(1699年)と推定される。
	新羅之記録	奥尻町字赤石	個人	昭和 45・2・12	寛永19年(1643年)に編さんされた、初期の松前家の実績の記録で、北海道最古の歴史文献。
	青苗遺跡出土品	奥尻町字奥尻314地先	奥尻町	平成 29・3・31	11～12世紀の擦文時代後期の貝塚。この時期の貝塚は極めて稀。擦文土器38点 骨角器81点
	南川遺跡出土の遺物	せたな町瀬棚区本町651番地	せたな町	昭和 56・3・31	せたな町瀬棚市街の南の海岸砂丘にあり、面積5万平方メートルに分布している。今から1800～2000年前、渡島半島から道央にかけて広がった恵山文化の遺跡の中では最大級のもので、北海道の文化財指定を受けたのは、昭和50年(1975年)に同遺跡の墳墓群から出土した土器25点と石器208点である。土器・石器とも、本州北端・青森地方に伝わってきた弥生文化の影響を強く受けており、恵山文化の人たちの生活を解き明かす貴重な資料である。
天然記念物	乙部鯨ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町字花磯	国	昭和 47・4・1	鯨ノ岬の北面幅約500mにわたって柱状節理を国道から見る事ができる。
史跡	青苗砂丘遺跡	奥尻町字青苗	奥尻町 国	平成 20・3・18	オホーツク文化最南の遺跡であり、南北文化交流の拠点でもある遺跡として重要。

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適 用
有形文化財	法華寺八方睨みの竜壁画	江差町字本町71	法華寺	昭和46・12・5	法華寺本堂の壁画で京都の画師・池大雅の作といわれている。画の中央に頭があり、どの方向から見ても自分の方を睨んでいるといわれている。美術的価値も高い。
	法華寺山門	江差町字本町71	法華寺	昭和46・12・5	約380年前に檜材伐採事業取締のために設置された檜山奉行所の正門。後に、この奉行所は江差発展に大きな役割を果たした。明治15年(1882年)法華寺に払下げられた。
	阿弥陀如来像(円空仏)	江差町字柏町369	柏観音寺	昭和52・2・17	寛文5年(1665年)から北海道各地で仏像を彫った円空上人の作。この仏像がいつから観音寺にあったのかはあきらかではないが保存状態も非常に良好である。
	来迎観音像(円空仏)	江差町字柏町	柏森神社	昭和52・2・17	円空上人の作。江差地方の鯨が不漁になった頃、豊漁祈願のため海に投げ込まれたが再び海岸に漂着したという。顔の状態ははっきりしないが保存状態は良好である。
	来迎観音像(円空仏)	江差町字尾山町	岩城神社	昭和52・2・17	円空上人の作。神社川尻に漂着したのを畑中ハツさんが自宅で祀っていた。頭部が半分かけ破損が激しい。明治35年(1902年)頃神社に奉納された。
	霰庵の句碑	江差町字姥神町98	姥神大神宮	昭和52・2・17	霰庵は松窓乙二の高弟太呂によって結社。文化11年(1814年)太呂が江差に滞在中揮毫し、句碑に刻んで素心屋敷に建立。明治5年(1872年)素心屋敷が焼失、昭和6年(1931年)に鷗島に移された。
	旧関川家別荘	江差町字豊川町55	江差町	昭和56・7・14	関川家別荘のうち土蔵は関川家文書等から判断すると6代目関川与左衛門の時代に建立されたものと思われる。江差の経済史を物語る上でも極めて貴重な建造物である。
	金丸家住宅母家及び土蔵	江差町字橋本町40	個人	昭和57・7・22	明治14年(1881年)建設の本住宅は橋本屋の屋号で呉服・太物・洋反物を販売していた鈴鹿甚右衛門所有のものである。橋本町の町名発祥の住宅として貴重なものである。
	江差八勝の額	江差町字姥神町98	姥神大神宮	昭和62・10・27	頼三樹三郎は、弘化3年(1846年)に江差の文人7人と、桂景を八景選定しそれぞれ詩題として作詩した。この作詩八題を額に表装し姥神大神宮に献額したものである。貴重な文化遺産である。
	子安地藏菩薩像(木喰仏)	江差町字中歌町168	金剛寺	昭和62・10・27	子安地藏菩薩像は、安永8年(1779年)の作品で二百有余年もの間庶民信仰の対象として保存されており貴重な資料である。
	地藏菩薩像(木喰仏)	江差町字泊町369	泊観音寺	昭和62・10・27	地藏菩薩立像は、安永9年(1780年)の作品で初期の木喰仏らしい作風を残している。二百有余年もの間庶民信仰の対象として保存されており貴重な資料である。
「隆民伝」の額	江差町字姥神町98	姥神神社	昭和62・10・27	寛正11年(1799年)松前藩主13代道広は「降福孔夷」と草書にて書き姥神神社に掲げた。これが因をなして奥州梁川に文化4年(1807年)移封されることとなったのは、北海道史上有名な事件の一つである。	

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適 用
	松沢伊八翁祈念碑	江差町字本町271	正 覚 院	平成 3・11・26	松沢伊八は天保6年(1835年)佐渡赤泊に生まれ慶応3年(1867年)で江差で独立した。海運業に大きな業績をあげるとともに初代江差郵便局長・田畑開墾・道路改修・江差灯台建設など公益事業に大きな功績を残した。
	瓊江丸記念碑	江差町字本町271	正 覚 院	平成 3・11・26	明治24年(1891年)7月11日津軽海峡で西海岸鯨場からの帰郷客321人を乗せて航行中、新潟県の三吉丸と衝突し乗客253名、乗員8名溺死という悲惨な事件となった。
	尾山徹三先生之墓	江差町字緑丘46	阿 弥 陀 寺	平成 3・11・26	尾山徹三先生は天保7年(1836年)城下福山に生まれる。江差市中で私塾江明学校・鷗島学校を開設し、明治期の教育に大きな役割と影響を与えた。明治22年(1889年)、師の徳を讃える弟子達の手によって巨大な墓碑が建立された。
	開陽丸出土遺物	江差町中歌町193	江 差 町	平成 3・11・26	開陽丸は、文久元年(1861年)幕府がオランダに発注し慶応3年(1867年)引き渡され幕府海軍軍艦となった。明治元年(1868年)江差沖で坐礁沈没。昭和50年(1975年)から引き揚げた出土物の総数は32,905点となっている。
	贈徒五位鈴鹿基右衛門之碑	江差町姥神町98	姥神大神宮	平成 3・11・26	6代目鈴鹿基右衛門は、文政6年(1823年)江差に生まれる。碑は、大正5年(1916年)曾孫・秀二郎が、町民の協賛を得て姥神大神宮境内に建立した。
	蝦夷錦	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 9・2・24	笹浪家所蔵品であり、江戸時代における上ノ国の歴史を知る上で貴重である。
	紺糸威胴丸	上ノ国町字大留52	上ノ国町	昭和 47・9・11	山上八郎氏によると「江戸時代中期宝暦頃のもの。万石以上の格式を備えた作りであり松前藩主着用の品であろう」としている。
	円空作仏像観音座像	上ノ国町字北村64-3	北村地藏庵	昭和 60・7・23	江戸時代の代表的造仏像である円空は北海道にわたり多数の仏像を作った。町内には6体が確認されている。
	円空作仏像観音座像	上ノ国町字木ノ子117	木ノ子光明寺	昭和 60・7・23	
	円空作仏像観音座像	上ノ国町字石崎204	石崎八幡神社	昭和 60・7・23	
	円空作仏像観音座像	上ノ国町字大留52	上ノ国町	昭和 60・7・23	

指定文化財一覧

● 町 指 定

(令和5年5月1日現在)

区分	名 称	所 在 地	所有者	指定年月日	適 用
有形文化財	絵画(裏書輪島屋太左衛門)	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 元・2・23	安政2年(1855年)松前藩領上知に際し、松前城下在村々の名主等の有力者が復領運動に奔走した。本資料は安政4年(1857年)復領に尽くした有力者等に裏書を付けて、輪島屋太左衛門名をもって藩主松前崇広より下賜された。
	絵画(裏書輪島屋太左衛門)	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 元・2・23	
	書(裏書輪島屋太左衛門)	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 元・2・23	
	書(裏書輪島屋太左衛門) 他1件	上ノ国町字上ノ国409	上ノ國 八幡宮	平成 元・2・23	
	書(裏書輪島屋太左衛門)	上ノ国町字大留	個 人	平成 元・2・23	
	清浄寺本堂	上ノ国町字上ノ国	清 浄 寺	平成 5・8・10	松前専念寺により建てられた掛所道場のひとつで専念寺10世了幻のとき、明和3年(1766年)5月に落成されたという。道南各地にたてられた掛所道場の実態を示す数少ない遺構として貴重である。
	書(松前氏13代道広書)	上ノ国町字上ノ国409	上ノ國 八幡宮	平成 5・8・10	道広が八幡宮に奉納したもの。
	書(松前氏14代章広書)	上ノ国町字上ノ国409	上ノ國 八幡宮	平成 5・8・10	松前藩領上地を解かれ梁川より帰国した章広が復領賽のため八幡宮に奉納したものである。
	書(松前氏14代章広書)	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	章広が天保3年(1832年)町内字石崎の牧場を巡視の時詠んだ俳句3句が記されている。
	チカルカルペ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地は厚手の紺木綿。裏に「西川堅作」の記載があり。衿と袖口の文様は樺太のアイヌ衣服であるアツウシに似ている。
	マエタレ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地はオヒョウ。切り状生地は紺木綿。裏に「上ノ国六年笹浪サキ(旧笹浪家11代当主久衛氏の母)」の記載あり。
	テタラペ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地はイラクサまたは麻。切り状生地は紺木綿。刺繍糸は白、紺木綿。縫い糸はイラクサ、白木綿裏に「上ノ国六年笹浪サキ(旧笹浪家11代当主久衛氏の母)」の記載あり。
	マエタレ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地はオヒョウ。切り状生地は紺木綿。裏に、「西川堅作」の記載あり。
	チカルカルペ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地は茶格子木綿、衿は紺木綿。切り状生地は古い紺木綿。刺繍糸、縫い糸は紺木綿。
	アッシ	上ノ国町字北村	個 人	平成 5・8・10	生地はオヒョウ。刺繍糸は、紺木綿。
	マエタレ	上ノ国町字北村	個 人	平成 5・8・10	生地はオヒョウ。
チカルカルペ	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 5・8・10	生地は茶格子木綿、切り状生地は古い紺木綿。	

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適用
有形文化財	アイヌ絵巻	上ノ国町字大留52	上ノ国町	平成 9・2・24	旧笹浪家所蔵品であり、江戸時代における上ノ国の歴史を知る上で貴重である。
	短刀及び拵一式	上ノ国町字北村	個人	平成 9・2・24	旧笹浪家所蔵品であり、江戸時代における上ノ国の歴史を知る上で貴重である。
	松前ばっかくの墓	上ノ国町字石崎471	石崎町内会	平成 13・6・5	齊藤流松前家の松前平角源の忠則の墓である。平角は18世紀後半の武芸に秀でた松前藩士で、寛政元年クナシリ・メナシの戦いに出陣、寛政3年(1791年)には高橋壮四郎らとともに、樺太を調査し、「樺太見聞書」を著している。
	赤門の墓	上ノ国町字木ノ子474-4	木ノ子町内会	平成 13・6・5	蛸崎将監廣当の墓と伝えられる。木ノ子は天明年間蛸崎将監の知行地であったことが『蝦夷拾遺』に記されている。その後『夷酋列像』で知られる。将監の嗣孫・波響(広年)も木ノ村を拝領している。
	南條の墓	上ノ国町字桂岡51	桂岡町内会ほか	平成 13・6・5	南條安右衛門の墓、若しくは南條越中廣継の墓と地元にて伝えられてきた。コシャマインの戦いの頃、南條家の祖季継知内町の脇本の館主として知られ、後に子孫は松前家に仕えた。廣継は天文17年(1548年)蛸崎基広の跡を継いで勝山の城代となり、安右衛門包元は享保18年(1833年)から寛保2年(1842年)まで寺社町奉行を勤めた。墓碑を囲む土累から採取された陶磁器により築造年代は17～18世紀と考えられる。
	蝦夷錦七条袷裳	乙部町字緑町386	専得寺	平成 10・3・3	本体の裏打ちには、明治7年(1874年)に能代権次郎が施主となり父治兵衛の法名をもらった事が記されている。
	享保七年銘喚鐘	乙部町字栄浜367	龍宝寺	平成 13・3・9	喚鐘は、「享保七年壬寅天 願主大茂内村…」の銘が刻まれており、同年に村人が大茂内村清順庵(後の龍宝寺)に寄進した。栄浜地区の成立を知るうえで貴重な資料である。
	美利河遺跡出土品	今金町字美利河228-1	今金町	平成 3・5・9	国指定重要文化財をのぞく約11万点の石器類。
	宮津弁天宮	奥尻町字宮津83	宮津町内会	平成 11.7.26	天保12年(1841年)創建。奥尻最古の祭祀場とされる、弁天島に立地。宮津チャシ及び宮津遺跡内に所在。
丁字頭勾玉	奥尻町字青苗36	奥尻町	平成 21.12.22	北日本で最大級の勾玉であり、丁字頭は北日本で唯一の出土例である。形状や特徴から弥生時代末期頃の西日本に由来する可能性がきわめて高い一級品の丁字頭勾玉である。糸魚川産のヒスイ原石を用いた丁字頭勾玉は近畿地方を中心とする西日本に多く発見され、古代における日本海交易の結果、奥尻島にもたらされたと考えられる。	

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適 用
有形文化財	徳洋記念碑	奥尻郡奥尻町字青苗青苗岬	奥尻町	平成 26.10.1	明治13年(1880年)に青苗沖に座礁した、英国軍艦アイアン・デュークを、乗艦していた有栖川宮威仁親王が、島民や他国軍艦と協力して救助に当たったことを記念し、その遺徳及び海難における共同救助の美徳を後世に伝え残すために建立されたもの。
	兜(明珍信家作)	せたな町北檜山区北檜山266	せたな町	平成 15.12.25	この兜は、北檜山開拓の祖、丹羽家代々の家宝として伝えられてきたもの。裏側には銘と製作年月日が刻まれており、天文18年(1549年)明珍信家の作で、明珍信家とは室町時代の甲冑づくり三大名人のうちの一人である。
	青い目の人形	せたな町北檜山区北檜山266	せたな町	平成 15.12.25	第一次世界大戦後、日米の対立による緊張が高まっていた昭和2年(1927年)に、両国の緊張緩和を目的に人形使節としてアメリカから太檜小学校に贈られたのが、青い目の人形「ルイズ・アルコット」である。
	荻野吟子の遺品・資料	せたな町瀬棚区本町628	せたな町	平成 17.8.9	明治18年(1885年)、公式に試験を受けて合格した公許女医第1号が「荻野吟子」である。女史は現在の埼玉県妻沼町生まれ、明治27年(1894年)に現今金町神丘に入植し、明治30年(1897年)に瀬棚村で「荻野医院」を開業した。開業後、予防医療の普及や女性の地位向上に尽力した。
	カニカン岳金山跡鉱山臼	今金町字美利河	今金町	令和 4.1.26	カニカン岳中腹には現在も坑道跡や露頭掘り跡が多数見られ、また江戸時代の文書記録等から、江戸時代前期に稼働した金山と考えられている。山麓から回収された鉱山臼3点は、当時の金山経営の一端を示すものとして貴重なだけでなく、当金山の年代的位置づけや技術の伝播系統をうかがい知る上でも重要である。
	美利河マンガン鉱山関連資料	今金町字美利河	今金町	令和 4.1.26	美利河マンガン鉱山は美利河地区内で明治25年(1892年)から昭和42年(1967年)まで稼働し、明治30年(1897年)に最盛期を迎え、人口1,000人に達するまで発展した。 当鉱山は砂金山を除く坑内掘り金属鉱山としては北海道最古の鉱山で、明治から昭和初期では北海道最大のマンガン鉱山とされている。 廃鉱後、昭和50年代(1975~84年)に関連資料一式が鉱山から移設され、現在収蔵庫で保管・展示している。これら一連の資料は当時の鉱山文化を示すものとして貴重である。

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適 用
名勝	鍋釣岩	奥尻町字奥尻 鍋釣海岸	国	平成 11・7・26	高さ約19mの奇岩で、その形が鉄鍋の弦(つる)に似ているところから命名されている。岩は海底の火山活動に由来し、溶岩が噴出ししかかったまま冷却されて固まり、後世に軟質だった周囲の岩盤が消滅し、溶岩部分だけが取り残されたもの。岩石の石質は安山岩。明治時代以前から岩に生えている植物はヒロハノヘビノボラズと言ひ、とげがあつて、蛇が登れないというのが、命名の由来。震災の影響で若干崩れたため、脆弱な箇所を補強してある。
無 形 民 俗 文 化 財	江差土場鹿子舞	江差町字柳崎地区	土場鹿子舞保存会	昭和 48・2・5	厚沢部川口の土場でばっさいによって発生。鹿子は三頭で前半は神事、後半は雌鹿子争い、中間に木々振り舞いがある。津軽鹿子の影響を強く受けている。
	江差田沢鹿子舞	江差町字田沢地区	田沢鹿子舞保存会	昭和 48・2・5	数人の若者がヤマメを採りに谷川へ出かけた折、5頭の鹿がたわむれているのを見て舞いにまとめたという。構成は五勝手鹿子舞と同じであるが鹿子頭が異なる。
	江差鮫踊り	江差町旧五勝手地区	江差鮫踊り保存会	平成 3・11・26	五勝手地域という鯨漁業従事地域に発生し古くから盆踊りの形態をとおして伝承されてきた。
	江差追分踊り	江差町全域	江差追分踊り保存会	平成 7・6・13	江差追分踊りは、文化元年(1804年)から文政12年(1829年)頃、江差経済繁栄のなかで座敷踊りとして、芸妓の間で踊られたのが創始といわれている。
	大留鹿子舞	上ノ国町字大留	大留鹿子舞保存会	昭和 50・12・13	開拓当時大留地区の人々が大干軒岳に住むという鹿を形どり、集落の平和、五穀豊穡を祈願して大留神社に奉納したのが創始といわれている。
	石崎奴	上ノ国町字石崎	石崎奴保存会	昭和 57・9・10	江戸時代から伝えられている字石崎地区の無形文化財である。石崎八幡神社の祭典に毎年奉納されている。
	土橋鹿子舞	厚沢部町字富栄	富栄鹿子舞保存会	平成 17・4・26	元禄年間に、江差町豊部内山中で鹿の不思議な動きを模して踊りが創作されたと伝えられ、文化5年(1808年)に江差市中で土橋の鹿子舞が踊られていたとの記録がある。明治34年(1901年)に町内沼ノ沢へ鹿子分けがされ、踊りの動作に神楽の足運びが取り入れられ、ゾバまきという独特の動作があることが特徴である。
	上俄虫鹿子舞	厚沢部町字上里	上里獅子舞保存会	平成 17・4・26	文化年間に陸奥国福島から伝来したとされる。陸奥国のある集落で鹿子頭がひとりだけで踊っていたことが目撃され、不吉に感じた村人が鹿子頭を川に流してしまったところ、集落で不幸が続いたという。この話を伝え聞いた上俄虫の人々が、鹿子の崇りを鎮めるため、鹿子分けを受けたことが由来とされる。
安野呂鹿子舞	厚沢部町字滝野	滝野鹿子舞保存会	平成 17・4・26	天皇や東北地方の大名の病を治すために犠牲となった鹿の霊を慰める目的で、山で目撃された鹿の動きを取り入れて踊りを創作したとされる。明治40年(1907年)に町内の赤沼集落へ鹿子分けがされた。	

指定文化財一覧

町指定

(令和5年5月1日現在)

区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	適 用
無形民俗文化財	当路鹿子舞	厚沢部町字当路	当路鹿子舞保存会	平成17・4・26	明治30年(1897年)頃に木材の流送などで関わりのあった厚沢部川下流の土場から鹿子分けがされた。明治40年(1907年)頃に踊りが改良され、現在の激しい中腰踊りとなった。
	目名権現獅子舞	厚沢部町字美和46	美和権現獅子舞保存会	平成21. 4.24	神楽系獅子舞の中でも権現舞を演目の中心とする「修験系」と称される類である。獅子舞の由来については確実な伝承は存在しないが、美和集落の奥山に住んでいた「行者」が伝えた芸能と言う伝えがある。
	久遠神楽	せたな町大成区都386	久遠神楽保存会	昭和59・1・7	明治30年(1897年)頃、青森県三本木町(現在の十和田市)から、鯨漁をするために移住してきた久保金治氏と弟の政次郎が遠くふるさとの山野を偲び、三本木町に伝わっていた踊りを都地区の青年団に教え、伝えたのが久遠神楽の始まりと伝えられている。現在は、大成中学生が伝承活動を行っている。
記念物	ピリカカイギュウ化石	今金町字美利河228-1	今金町	平成6・12・14	約120万年前の海生哺乳類化石32個他。体長8mと、復元された中では世界最大級のカイギュウ化石として知られる。
有形民俗文化財	船絵馬(2枚)	江差町字陣屋町9	檜山神社奉賀会	昭和56・7・14	安政7年(1860年)と明治12年(1879年)に奉納されたもの。弁財船の所有者が安全を祈り奉納したもので当時の信仰の様子が理解できる。美術的作品としても貴重なものである。
	船絵馬	江差町字姥神町98	姥神大神宮	昭和62・10・27	明治12年(1879年)に弁財船の所有者が、航海の安全を祈り奉納したもので、当時の信仰の様子が理解できる。美術的作品としても貴重なものである。
	祭礼山車蛭子山人形御面相及び付属品	江差町字中歌町	蛭子山保存会	平成12・4・19	京都人形彫刻師常川又右衛門の作と推定。明治29年(1896年)江差町法花寺町田中龍北より修繕町区改正により、昭和12年(1937年)旧中歌町から新中歌町に引き渡し。
	祭礼山車蛭子山水引猩々緋水引	江差町字中歌町	蛭子山保存会	平成12・4・19	緋羅妙地に金糸等で布袋・龍・虎を描いている。明治元年(1868年)、旧九艘川町住宅の豪商岸田三右衛門が京都の呉服織物問屋糸屋忠蔵に依頼制作。
	祭礼山車豊年山水引唐子春秋之図	江差町字姥神町	豊年山保存会	平成12・4・19	各種色糸の刺繍にて図柄を描き、主要図柄は中に綿を入れて盛り上げ、四方を緋羅妙地にて縁取りし、紫色の房が付く。昭和55年(1980年)、京都宇佐美松鶴堂にて修復。
	祭礼山車豊年山水引日本三景之図	江差町字姥神町	豊年山保存会	平成12・4・19	日本三景が緋羅妙地に刺繍されている。四方の縁は緑色の緋羅妙地で作られている。明治45年(1912年)中歌町蛭子山にて制作。
	祭礼山車聖武山人形御面相及び付属品	江差町字橋本町	聖武山保存会	平成12・4・19	祭礼山車の人形で、明治22年(1889年)に大阪の大江良助によって作られた。
	円空作仏像観音座像	上ノ国町字上ノ国236	上ノ国町	昭和60・7・23	この仏像は像の一部を護符等として削ったり、子供達が遊び相手にした等との言い伝えも残されており、そうした当町における庶民信仰の過程を伝えるものとして貴重である。

指定文化財一覧

● 町 指 定

(令和5年5月1日現在)

区分	名 称	所 在 地	所有者	指定年月日	適 用
有形民俗文化財	阿波浄瑠璃人形	せたな町 北檜山区北檜山226	せたな町	平成 15・12・25	明治24年(1891年)徳島県から北檜山に入植した人々が結成していた「真駒内浄瑠璃一座」で使用していた浄瑠璃人形である。 現在、一座は廃業しているが、徳島県に博物館がある人形師天狗久作のものや、人形師富作のものが現存している。
	上田式豆まき器	今金町字美利河228-1	今 金 町	平成 27.2.17	明治42年(1909年)、上田甚作氏が考案した豆まき器で、苦勞の多かった播種作業を大幅に効率化し、その後約半世紀間にわたり広く普及し、道内の畑作農業の発展に大きく貢献した。
史跡	戊辰の役戦死者の墳墓地	江差町字松の岱	檜山護国神社	昭和 46・12・5	明治元年(1868年)11月から2月5日まで、榎本武揚との戦いで戦死した政府方の墳墓である。松前藩士や水戸藩士92名の墓があり、本道黎明期における歴史的価値が高い。
	かもめ島砲台跡(南北2カ所)	江差町字鷗島	江 差 町	昭和 56・7・14	嘉永5年(1852年)松前藩が外国から侵略を防ぐため設置した。現在はその跡だけが残されているが、藩政時代の沿岸警備の様子を知るうえで貴重な資料である。
	北前船飲用井戸	江差町字鷗島	個 人	昭和 57・7・22	江差の歴史の中で北前船の活躍は欠かすことのできない重要なものであり、この井戸の果たした役割は非常に大きなものである。
	北前船係船柱及び同跡(かもめ島周辺)	江差町字鷗島	江 差 町	昭和 57・7・22	鷗島に係船するために江差商人の手によって設置したのがこの係船柱及び同跡であり、江差の経済を支えた北前船の資料として貴重なものである。
	美利河砂金採掘跡	今金町字美利河	国 今 金 町 個 人	令和 4・1・26	指定区域一帯は、人頭大程度の礫が石垣状に積み上げられた遺構やすり鉢状にくぼんだ地形、石積みなど、江戸時代前期の松前藩による砂金採掘の関連遺構が良好に残っており、当時の砂金採掘技術や金山経営の実態を知る上でも重要である。

教育関係団体一覧

● 檜山管内教育研究団体等

(令和5年5月1日現在)

団 体 名	代 表 者 氏 名	事 務 局 長 氏 名	事 務 局 所 在 地
檜山へき地複式教育研究連盟	安田 善紀 (鶉小)	中川 真一 (河北小)	河北小学校 0139-55-2151
檜山管内特別支援学級教育研究会	佐藤 等 (館小)	茅森 輝男 (館小)	館小学校 0139-66-2230
檜山道徳教育研究会	笠松 靖史 (乙部小)	山本 雅樹 (瀬棚中)	瀬棚中学校 0137-87-3104
檜山音楽教育研究会	西山 恭史 (久遠小)	西山 裕恵 (上ノ国中)	上ノ国中学校 0139-55-2028
檜山造形教育研究会	谷口 光伸 (江差小)	近藤 覚 (今金小)	今金小学校 0137-82-0224
檜山中学校英語教育研究会	甲谷 美映子 (江差北中)	辻 春美 (上ノ国中)	上ノ国中学校 0139-55-2028
檜山管内養護教員研究会	佐藤 真由 (瀬棚中)	内田 志緒 (今金小)	今金小学校 0137-82-0224
檜山社会科教育研究会	岡 健 (奥尻中)	近藤 覚 (今金小)	今金小学校 0137-82-0224
檜山管内学校保健体育研究会	佐々木 弘司 (今金中)	鈴木 優斗 (江差北中)	江差北中学校 0139-53-6022
檜山管内小中学校国語教育研究会	晴山 泰文 (明和小)	西村 昭彦 (上ノ国小)	上ノ国小学校 0139-55-2009
檜山国際理解教育研究会	黒川 貴功 (種川小)	能代 淳司 (北檜山中)	北檜山中学校 0137-84-5345
檜山管内公立幼稚園・こども園研究会	工藤 崇 (青苗幼)	野口 敏繪 (青苗幼)	青苗幼稚園 01397-3-2105
檜山管内情報教育研究会	—	代理 本谷 弘之 (北檜山小)	(北檜山小学校 0137-84-5424)
檜山教育研究所	桂田 富次 (せたな町教委)	吉岡 栄 (南が丘小)	南が丘小学校 0139-52-0524
檜山管内学校保健会	経田 剛 (檜山医師会)	石澤 修介 (上ノ国小)	上ノ国小学校 0139-55-2009
檜山校長会(小・中学校)	谷口 光伸 (江差小)	佐藤 等 (館小)	館小学校 0139-66-2230
檜山教頭会(小・中学校)	桜庭 一宏 (厚沢部中)	村田 真一 (上ノ国中)	上ノ国中学校 0139-55-2028
檜山管内中学校・高等学校連絡協議会	古谷 尚 (江差高)	関田 貴人 (上ノ国中)	上ノ国中学校 0139-55-2028
檜山管内教育委員会連絡協議会	桂田 富次 (せたな町教委)	北川 伸之 (教育局)	檜山教育局 0139-52-6521

教育関係団体一覧

● 檜山管内社会教育関係団体

(令和5年5月1日現在)

団体名	代表者氏名	事務局	事務局連絡先
檜山PTA連合会	飯田 隆志(江差町)	江差町立江差小学校	0139-52-0140
檜山管内スポーツ少年団連絡協議会	柴田 正弘(江差町)	江差町教育委員会	0139-52-1047
檜山管内社会教育主事会	櫻花 晶子(奥尻町)	せたな町教育委員会	0137-84-5111
檜山女性団体連絡協議会	小池 令子(今金町)	今金町教育委員会	0137-82-3488
檜山管内スポーツ協会連絡協議会	三浦 安則(上ノ国町)	上ノ国町教育委員会	0139-55-2230
檜山管内スポーツ推進委員協議会	谷口 清利(厚沢部町)	厚沢部町教育委員会	0139-64-3318
檜山管内文化団体連絡協議会	本間 誠一(せたな町)	せたな町教育委員会	0137-84-5111
檜山管内図書館振興協議会	安達 達也(厚沢部町)	厚沢部町教育委員会	0139-64-3318
檜山地域子ども会育成連絡協議会	久ヶ澤 佳祐(今金町)	今金町教育委員会	0137-82-3488
檜山管内社会教育委員連絡協議会	森 定宏(上ノ国町)	上ノ国町教育委員会	0139-55-2230
北海道高等学校PTA連合会道南支部	柏倉 正 (北海道函館工業高等学校PTA会長)	北海道函館工業高等学校	0138-51-2271

区分 町名	町長	教育長	教育長 職務代理	委員			教育委員会所在地	
江差町	照井 誉之介	出崎 雄司	加澤 優香子	高岡 広明	小笠原 敏文	加川 千秋	〒043-8560	TEL:0139-52-1059
							江差町字中歌町193-1	FAX:0139-52-0234
上ノ国町	工藤 昇	矢代 智樹	八十科 剛	福士 智子	波佐谷 宏昭	古館 和江	〒049-0611	TEL:0139-55-2230
							上ノ国町字大留100	FAX:0139-55-1044
厚沢部町	佐藤 正秀	鈴木 聡	佐藤 祐子	谷口 智則	竹中 忍	道島 康明	〒043-1113	TEL:0139-64-3318
							厚沢部町字新町234-1	FAX:0139-64-3822
乙部町	寺島 努	品野 肇	中村 彰	小野 美智子	松崎 真由美	阿部 修一	〒043-0104	TEL:0139-62-2253
							乙部町字館浦4-1	FAX:0139-62-2407
奥尻町	新村 卓実	新谷 順二	上野 史朗	佐藤 康博	水野 展久	津山 智代	〒043-1401	TEL:01397-2-3890
							奥尻町字奥尻314	FAX:01397-2-3891
今金町	中島 光弘	中山 秀悦	小野 嘉代子	永井 章	船木 恵	村瀬 一人	〒049-4393	TEL:0137-82-3488
							今金町字今金48-1	FAX:0137-82-3445
せたな町	高橋 貞光	小板橋 司	桂田 富次	田井 重久	光銭 浩	大串 富美子	〒049-4592	TEL:0137-84-5111
							せたな町北檜山区徳島63-1	FAX:0137-84-6694
江差町・上ノ国町 学校給食組合		出崎 雄司	矢代 智樹	加澤 優香子	小笠原 敏文		〒043-0063	TEL:0139-52-1356
							江差町字南浜411	FAX:0139-52-1673

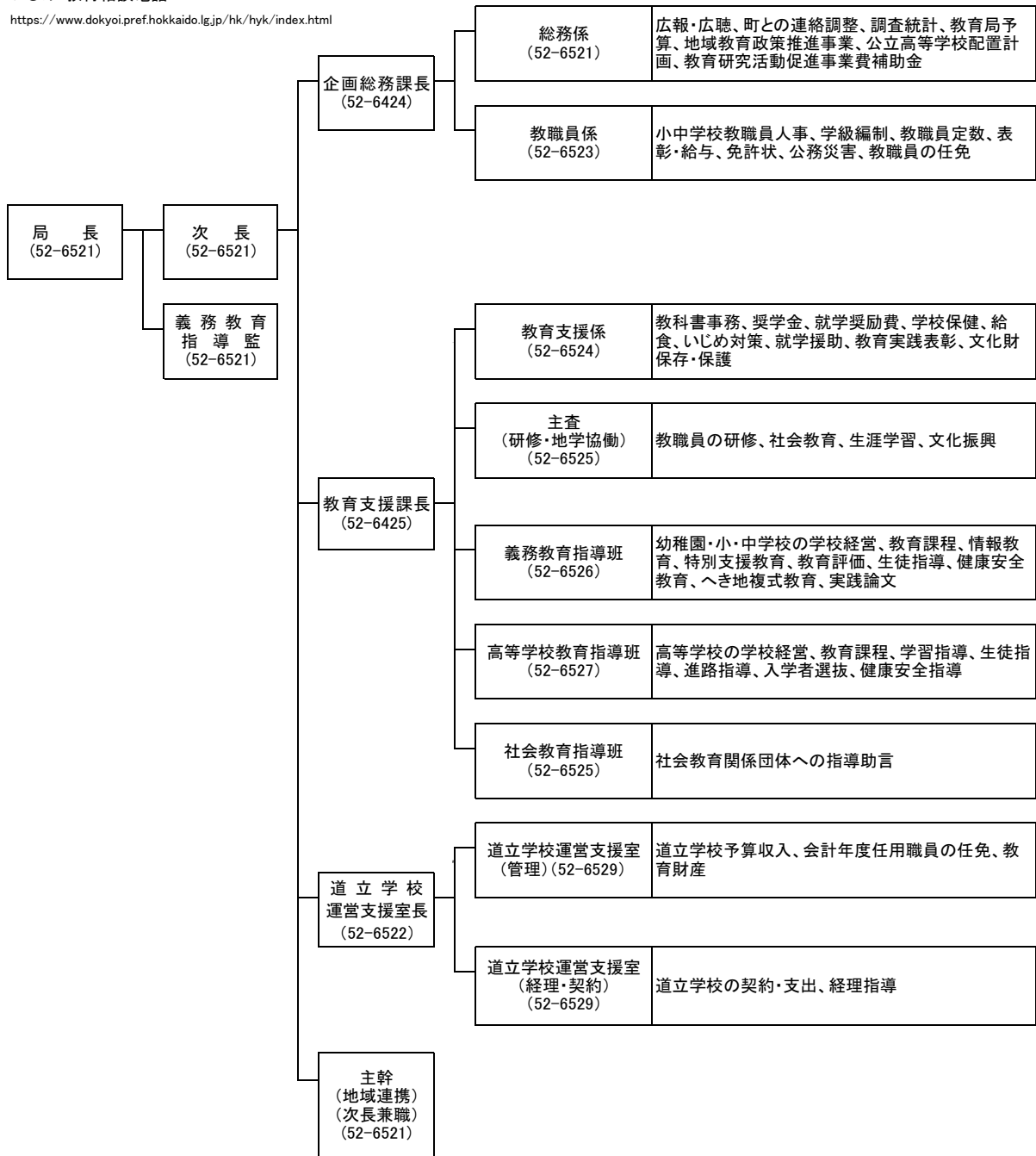
教育局の機構

代表電話 0139-52-6521

ファックス 0139-52-1368

いじめ・教育相談電話 0139-52-1123

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hyk/index.html>



【時空翔：奥尻町】

1993年（平成5年）7月12日に発生した北海道南西沖地震から今年で30年を迎えます。

青苗岬、徳洋記念緑地公園内の丘に立つこの慰霊碑は、北海道南西沖地震により犠牲となられた方々の霊を慰めることだけでなく、島で生きていく人々が自然豊かな島の未来を模索する空間の象徴として建築されています。

要覧 ひやまの教育

発行：令和5年7月

編集：北海道教育庁檜山教育局

〒043-8558

北海道檜山郡江差町字陣屋町 336-3

TEL：0139-52-6521

<https://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hyk/index.html>